みつかる。
つながる。
よくなっていく。

２０２１年5月１日

幼保連携型認定こども園　西神戸 YMCA 保育園 5 月えんだより

5 月聖句：「安心して行きなさい」

＜マルコによる福音書 5 章 34 節＞

暖かな春の日が続きます。日中は、外に出ますと初夏を感じる暑さに、子ども達は、ひとあしお先に半袖シャツになり、汗を一杯かいている姿もみます。新年度が始まって１ヶ月が経ちますが、子ども達の泣き声も徐々に聞こえなくなり、園の生活に慣れ始め、成長の姿がうかがえます。

特に、お仕事に復帰される方や初めて保育園に託される皆さんは、生活のリズムに少し慣れてきた時期かもしれませんが、変化する生活に、心配なことがたくさんあるかと思います。一緒に話をしながら保育を進めていきましょう。

さて、今月の聖句は、長い間重い病気を患った人が、病気が原因で差別にあい、人目を避けるように生き、苦しみ、何とか一縷の望みを胸にイエスのところにやってきた場面のお話しです。隠れてイエスの傍に来たときに、イエスが言われた言葉が「安心して行きなさい。」「大丈夫！」この言葉によって自由になっていくのです。

一年前のこの時期も、緊急事態宣言下の中で私たちは生活していました。未知のウイルスに恐れ、人との接触や交わりを避けることを余儀なくされました。解除されて再会した時の喜びは、今でも心から嬉しかったことを覚えています。約一年が過ぎ、感染した方は全人口の 0.5%であることから考えますと、今月の聖句の話のように、感染してしまった方々や感染の疑いをもたれた方々は、恐怖におののき、不安な中で病と闘い、治療の後も人目を気にするような、そんな思いの中で過ごされてきたのではないかと考えます。誰もが罹りたくない病に、明日当事者になるかもしれない私たちは、イエスのように不安を抱く人々に「大丈夫！」と、心から声をかけあうことが今、大切なのではないかと思うのです。

子ども達は、こうした未知の経験を肌で感じながら、特に幼い子ども達の場合は、思いを告げるすべがなく、感情や行動の変化があるかもしれません。当会でも専門家のご指導をうけつつ保育を進めていますが、まず、何よりも「大丈夫」「安心して」と子ども達のどんな思いも丸ごと受け止めていくことをしっかりとすすめていきましょう。

年主題　『共に喜んで』～　すべての歩みの中　～

5 月	乳児（0,1,2 歳児）	幼児（3,4,5 歳児）
月主題	なんだろう	感じる
月の願い	＊　まわりに目を向け、手をのばす ＊　園生活や保育者に慣れ、安心して過ごす	＊　聖書の話や讃美歌に親しむ ＊　まわりの人々、社会、世界の出来事にも目を向けて恵みをわかちあう ＊　友だちや遊びの中で心を動かし、自ら関わろうとして一歩をふみ出す。
讃美歌	ひとりひとりの　なをよんで	どんなに　ちいさなことりでも　こども改 58